

地域に視点をあてた事業展開 [高年]

地域との結びつきを大切にし、利用者と地域住民との交流の機会を設ける

地域の区長より、地域の敬老会がマンネリ化して参加者が少なくなってきたとの相談を受けたことをきっかけに、当グループホームの存在が地域住民の中で認知されていないことに気付いた。入居者の生活をより豊かなものにするためにも、地域住民との交流につなげるべく、地域の行事に積極的に参加し、当施設の行事に地域の方に参加いただくよう働きかけている。

京都府

社会福祉法人

みねやま福祉会

〒627-0021 京都府京丹後市峰山町吉原73

TEL：0772-69-5300 FAX：0772-69-5305

◇法人設立年

昭和27年

◇法人実施事業

- ①経営施設（事業）数：13施設29事業
- ②経営施設・事業の種類：
特別養護老人ホーム…2、訪問入浴介護…1、
訪問介護…2、通所介護…2、短期入所生活介護…2、
小規模多機能型居宅介護…2、認知症対応型共同生活介護…2、
居宅介護支援…2、老人介護支援センター…1、
障害福祉サービス事業…3、相談支援事業…1、
地域活動支援センター…1、
保育所…2、一時預かり（保育所型）…1、
児童養護施設…1、乳児院…1、
子育て短期支援事業…2、あんしん賃貸支援事業…1

◇法人の理念・経営方針

<理念>

- ・創設の理念を尊重しより質の高い福祉サービスの提供
- ・地域の人々のこころ豊かで安心・安全な暮らしへの貢献
- ・誇りと夢を持ち福祉の仕事にまい進できるよう職員の幸福追求

<サービスの質（品質方針）>

- ・私達はサービス提供のすべての場面で「管理より生活を」大切にします
- ・常に正しい情報の把握と提供に努め自分が受けたサービスを提供・改善に努めます

◇取り組みを実施している施設の概要

【施設名】

グループホーム もみじ

【施設種別及び利用定員】

認知症対応型老人共同生活介護 9名

◇活動内容

- 活動開始年
平成21年10月
- 活動の対象者
地域住民、高齢者
- 活動の頻度・時間
行事のときに随時

◇活動実施の背景、実施にいたった理由

地域の区長より、地域の敬老会がマンネリ化して参加者が少なくなってきたとの相談を受けた。地域の中には当グループホームの存在をご存じない方も多く、もっとグループホームもみじを知っていただき、グループホーム入居者の方にも地域の中に溶け込んでいただきたいと思います。さまざまな地域の行事に参加するようになった。地域住民にも、当施設の行事に参加いただくようになった。

◇実施内容

職員及び利用者が参加をした地域の行事、地域住民が参加いただいた当施設の行事は以下のようなものである。

①敬老会

平成21年10月18日、入居者の方と職員と一緒に参加し、職員がゲームの出し物をした。

②地藏盆

平成22年8月22日の日中、入居者の方と一緒にお供え物を持参しお参りをした。

③地区の納涼祭

平成22年8月22日の夕方、入居者の方と一緒に参加した。

④もみじの納涼祭

平成22年8月28日の夕方、当施設の中庭で地域の方、入居者の家族の方がたと一緒にバーベキューをした。

◇活動効果（利用者や職員、地域などの反応、影響）

2か月ごとの運営推進会議で、地域の代表の方と顔なじみになり、地区の行事にも参加の声掛けをしていただけるようになった。納涼祭に参加した時は、地域の多くの方からも声を掛けていただいた。当グループホームの行事である「もみじの納涼祭」には、近隣住民の方に参加していただき、入居者との交流が深まり、楽しい一時を過ごしていただいた。

入居者が地域の行事等に参加する事で顔を覚えていただき、散歩の途中でも地域の方から声を掛けていただけるようになった。地域住民との交流が深まったと感じられる出来事である。



◇今後の展開

一歩一歩、入居者と地域の方達とのなじみの関係が構築されつつある。今後も地区の行事には参加し、当施設での行事により一層近隣の方に参加していただけるようにしていきたい。



◇主な経費や財源及び人員等

※年間あたり

主な経費	経費概算額	主な財源	財源概算額
地蔵盆お供え代	2,000円	施設負担	48,800円
納涼祭材料費	52,000円	参加者負担	5,200円
<合計>	54,000円	<合計>	54,000円

- ・取り組みにかかわった職員数 8名
(職種等：介護士)